

教育情報化学習指導案

対象学年	中学生	所要時間	1 時間(50 分)
教科の 目標及び内容	技術・家庭 — 情報に関する技術：情報通信ネットワークと情報モラルについて、次の事項を指導する。 ア コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知ること。 イ 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知ること。 ウ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えること。 エ 情報に関する技術の適切な評価・活用について考えること。 総合 — 学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、生徒の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動、職業や自己の将来に関する学習活動などを行うこと。 道徳 — 主として自分自身に関すること。 (望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。)		
題材名	ネット依存症		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ● メールやインターネットのマナーを理解する(相手の都合、送信する時間や場面を考え、返信を強要しない。) ● コミュニケーションの方法をメールだけに頼らないようにすることが分かる。 ● 依存症から起きる身体への影響を知り、危険性や予防の対策を身に付ける。 		
情報モラルに関する視点	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全への知恵: 自他の安全や健康を害するような行動を抑制できる。 健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる。 ・精神的・身体的に負担がかかり過ぎないように注意する。 ・メディアの使い方を誤ると、心身の健康に、問題が起きうることを知る。 		

指導の流れ

※情報モラルに関する視点♥

所要時間	主な学習活動	指導・支援の流れやポイント	使用教材等	
1 校 時 目	10 分	導入&映像クリップの視聴 	→ 今日の授業の内容の確認。 → 普段、どのくらいインターネットやケータイ・ゲームを利用しているか?を確認する。 → 映像クリップの視聴。	使用教材 広教 事例で学ぶ Net モラル A-16 メール依存
	10 分	映像クリップについて考える 	→ メールを正しく使うために気を付けることを話し合う。♥ ・無理な返信の要求をしない。 ・相手の都合を考える。 ・使いすぎないように、時間を決める。 ・会話など現実の交友を大切にする。	
	10 分	メール依存の影響 	→ 依存症について心身への影響を考える。♥ ※メールに限らず、ゲームやインターネットも視野に入れて考える。 ・心への影響について ・身体への影響について ・社会性	
	5 分	依存度チェック	→ 各自、3 分程度でチェック項目を記入。 → 結果発表。♥	依存度チェック ※別紙参照
	15 分	まとめ 	→ まとめの映像クリップ①②③を視聴。♥ → メールやネット利用時に気を付けるべきことは? ♥ ・メールの受け手の気持ち、時間帯を考えて使う。 ・依存する前に、現在の使い方を改める。 ・メールやネットに頼りすぎず、友人とのコミュニケーションを大切にする。	